

私の家族

(TBSドキュメンタリー映画祭2024 上映作品)

久保田 智子 監督作品

(現兵庫県姫路市教育長、元TBSアナウンサー) ©TBS

久保田智子氏が「特別養子縁組」で新生児を家族に迎えたことをきっかけに「特別養子縁組からはじまる家族のかたちを発信したい」とドキュメンタリーを製作する。子どもにお母さんが二人いることを伝える方法を自問しながら生きる姿をご覧ください。ご家族・ご友人お誘いの上、お気軽にお越しください。



令和
7年

6月29日 日

上映時間：13:30 (12:30開場) - 15:00

伊賀市文化会館 さまざまホール

(三重県伊賀市西明寺3240-2)

入場
無料

定員：800名(先着)

申込先：三重県フォスタリング機関支援事業受託機関

社会福祉法人 名張厚生協会 里親支援センター「ほっこり」

お申込は
こちら

★上映会終了後、希望者向けに個別相談もあります★



里親 について 知っていますか？

里親とは

さまざまな事情により家庭で暮らすことができない子どもを自分の家庭に迎え入れ、家族の一員として愛情を持って育てる方です。



なぜ里親が必要な の？

今、日本国内には、家族と一緒に生活できない子どもたちが、約42,000人います。三重県でも約500人います。この子どもたちが、健やかに成長していくためには、特定の大人との愛着関係が必要です。

特定の大人と生活することで、基本的な安心感を得て、それが人との信頼関係の構築につながっていきます。

自分にできるかたちで、あなたも「里親」をはじめませんか？

いろいろな里親のかたちがあります(一部)

養育 里親

子どもを家庭に迎え入れて一定期間養育する

養子縁組 里親

戸籍上も親子となることを目指して子どもを迎え入れる

市民向け説明会 参加者の声

里親について、
分かっているようで知らなかった。

1人でも多くの子が
里親家庭で育ってほしい。

里親になるのは難しいが、
協力できることがあればと思う。

里親というものを重く考えすぎない。
普通に暮らしている大人が
子どもを迎え入れ、生活をしていく
というだけで、「特別な家庭」というわけ
ではないことが分かった。

